

取扱説明書

インカムアプリケーション for Android

(ET-INCOMAPA)

Ver.1.XXX~

このたびは、本アプリケーションをご利用いただき、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、インカムアプリケーション（以降本アプリケーションまたはアプリケーションと記載）をご利用する場合に使用します。
よくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●この「取扱説明書」に記載されていない機能については、主装置の取扱説明書をご覧ください。
●主装置のデータ設定については、販売店にご依頼ください。

■本取扱説明書全体の注意点について

- 本取扱説明書及び本アプリケーションの一部または全部を無断で複写・転載することは、固くお断りします。
- 本取扱説明書及び本アプリケーションの内容について、改良・仕様変更のため予告なしに変更することがあります。
- 本取扱説明書中のイラスト及び画像は、説明用のため実際とは多少異なる場合があります。また、説明に関係のない部分を一部省略している場合があります。
- 本取扱説明書中における端末（OS）側の設定に関する記載の表現や手順等は一例であり、ご利用の機種によっては、一部の表現や手順等が異なる場合があります。

■本取扱説明書に記載の各社商標について

- AndroidはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- Bluetooth® はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

1. 概要	2
アプリケーション導入上のご注意	2
動作確認済み機種一覧	6
2. アプリケーションの起動	7
アプリケーションの起動	7
3. アプリケーションの設定	10
社外利用ON/OFF	10
モバイル回線固定ON/OFF	11
PTTボタン通話固定ON/OFF	12
通信切断時の音声通知ON/OFF	13
入室時ハンズフリー利用ON/OFF	14
基本情報の設定	15
保守情報の設定	18
プライバシーポリシー	23
Q&A	24
著作権情報表示	25
ログアウト	26
アプリの終了	28
4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）	29
ルームに参加する（インカムで通話する）	29
ルームから退出する	31
ルームから抜ける（インカム不参加）	32
電話をかける	33
電話を受ける	34
5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）	37
プッシュ通知機能を利用する	37
外出先で利用する	38
二次元コードで設定を行う	39

1. 概要

本アプリケーション（ET-INCOMAPA）は、スマートフォンをXシリーズ主装置のインカムとして利用するためのアプリケーションです。SIMを使用したモバイルデータ通信およびWi-Fi接続（主装置ネットワーク内）で利用できます。

※通信規格であるLTE、4G、5Gなどの携帯キャリアによるデータ通信・通話サービスについては、本取扱説明書では「モバイルデータ通信」または「音声通話回線」などと表記しています。

※着信時などにインターネット経由でプッシュ通知を受信する機能に対応しており、アプリケーションが未起動（停止中）の場合でも通知を受信できます。

※本アプリケーションを動作確認済み機種以外のスマートフォンにインストールした場合の動作保証はいたしません。

アプリケーション導入上のご注意

【全般】

- 本アプリケーションをXシリーズ主装置のインカムとして利用するにあたっては以下の用品が必要となりますので、利用前にご確認ください。
 - ・Xシリーズ主装置（ソフトバージョン：4-1版～）
 - ・Xシリーズ用VoIP内線ユニット（VOIPU/VOIPUD）
※本アプリケーションを使用するスマートフォン、およびその他接続するIP電話機の台数に応じた枚数が必要です。
 - ・インカム機能ライセンス
※ライセンスの登録方法については、販売店へお問い合わせいただくか、主装置工事・保守マニュアル「データ設定マニュアル編ーライセンス管理」を参照してください。
 - ・無線LANアクセスポイント
※無線LANアクセスポイントの動作確認済み機種については販売店へお問い合わせください。動作確認済み以外の機種を使用した場合、動作や品質は保証できません。また、無線LANアクセスポイントの設定は販売店へご依頼ください。
- 利用可能な主装置サービス機能や、主装置側に必要な設定内容は、主装置の工事・保守マニュアル「データ設定マニュアル編」の「データ設定早見表」「コマンド一覧表」「コマンド説明」に記載されています。詳細は販売店にご確認ください。
- 本アプリケーションはIPカメラドアホンなどの映像を表示できません。音声通話のみの対応となります。そのため、本アプリケーションに映像を表示する機能を主装置や画像サーバ側で設定しないでください。

【ネットワーク】

- 本アプリケーションは、SIMを使ったモバイルデータ通信およびWi-FiなどのIPネットワーク経由で通信します。そのため、一般の電話機と比較してネットワーク環境により通話品質が異なる場合があります。音声の遅延、途切れ、エコー、操作が有効にならないなどの事象が発生することがあります。特に以下のような状況ではご注意ください。
 - ・スマートフォンが高負荷の状態にある場合
 - ・本アプリケーションで使用しているネットワークに大きなトラフィックが発生している場合
 - ・電波の弱いエリアで使用している場合や周囲の環境変化で一時的に電波状況が弱くなっている場合、または無線LANアクセスポイントのチャネル干渉や圏外エリアがある場合
※無線LANアクセスポイントの設置については、事前にサイトサーベイを行ってください。詳しくは販売店へご相談ください。
- 1台の無線LANアクセスポイントに多数のスマートフォンを接続すると、端末1台あたりの通信速度が低下し、すべてのスマートフォンで通話品質の悪化や接続断が発生するおそれがあります。1台の無線LANアクセスポイントに同時接続するスマートフォンの台数は、8台を目安としてください（無線LANアクセスポイントを他機器と共用していない場合）。
- プッシュ通知機能を利用する場合は、事前に主装置をインターネットへ接続しておく必要があります（主装置がインターネットに接続されていない場合、プッシュ通知機能は利用できません）。インターネットへの接続方法については、販売店にご確認ください。

1. 概要

アプリケーション導入上のご注意

- Wi-Fiのネットワーク設定における「IP設定」は「静的」に設定し、ネットワーク環境に適したIPアドレスを設定してください。
- 本アプリケーションは事業所用PHSと異なり「ハンドオーバー」には対応していません。無線LANアクセスポイントが切り替わると、主装置との接続が切断されることがあります。切断された場合は、再度主装置への接続操作を行ってください。
また、通話しながら移動中に、接続中の無線LANアクセスポイントの電波が届かない場所へ移動すると、周囲に電波状況が良好な無線LANアクセスポイントがあっても通話が切断されることがあります。
※利用環境やスマートフォン性能によっては、接続や通話が継続する場合があります。詳細は販売店へご確認ください。
- Wi-Fi接続環境でプッシュ通知機能を利用する際は、スマートフォンのネットワーク設定にある「IP設定」を「静的」に設定し、以下の内容を入力してください。
 ゲートウェイ：システム環境に接続しているルータ等のIPアドレス
 DNS1：8.8.8.8
主装置がインターネット未接続でプッシュ通知機能を使用しない場合は、「ゲートウェイ」に無線LANアクセスポイントのIPアドレスを設定してください（「DNS1」は8.8.8.8のままで問題ありません）。
- Wi-Fi接続環境で主装置へ正常に接続できない場合は、無線LANアクセスポイントの設定とスマートフォンのWi-Fi設定を確認し、必要に応じて見直してください。
また、設定を変更した場合は、本アプリケーションを必ず再起動してください。

【スマートフォン】

- 本アプリケーションは、スマートフォンの画面解像度やフォントサイズによっては正常に表示できない場合があります。本アプリケーション起動中に端末側で「フォント」や「テーマ」の設定を変更すると画面が正常に表示されませんので、必ず本アプリケーションを再起動してください。
- Google Play ストアの設定にある「アプリの自動更新」は、「アプリを自動更新しない」に設定してください。他の設定にしている場合、スマートフォンによっては他のアプリの自動更新中に本アプリケーションが動作すると、正常に通信できないことがあります。
- スマートフォン側でバックアップ設定が有効な状態で本アプリケーションを再インストールした場合、以前の設定データが復元されることがあります（再インストール後の起動時に旧データが反映される場合があります）。
設定データが復元された場合は、端末の設定アプリから当該データを削除し、再度本アプリケーションの設定を行ってください。
- PCとUSB接続し、本アプリケーションで取得した各種ログやエクスポートした設定ファイルなどのデータを移動する場合は、スマートフォンのUSB設定を「ファイル転送」などに設定してください。既にPCとUSB接続しており、スマートフォン内に同名のログファイルや設定ファイルが保存されている状態で新たに取得やエクスポートを行った場合は、PCと一度再接続してからデータを移動してください。
- 本アプリケーションを利用する場合は、端末独自の省電力設定を無効にしてください。
※省電力設定が有効な場合、本アプリケーションが主装置から切断され、着信を受けられないことがあります。
- スマートフォン側の「電池の最適化」は無効に設定してください。有効のまま使用すると、スマートフォンがスリープ状態で一定時間経過した際に主装置との接続が切断され、本アプリケーションで着信を受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。
※「電池の最適化」が有効の状態では本アプリケーションを起動した場合、設定の変更が必要である旨のダイアログが表示されます。ダイアログが表示された場合は設定を変更し、再度本アプリケーションを起動してください。
- Googleの自動入力サービスを利用して本アプリケーションの設定値を入力すると、正常に利用できない場合があります。

1. 概要

アプリケーション導入上のご注意

- スマートフォン側の「アプリの権限」では、本アプリケーションが利用するすべての権限を「許可」（「アプリの使用中的み許可」など名称が異なる場合があります）に設定してください。権限が「許可しない」の場合、本アプリケーションを正しく起動・利用できません。
本アプリケーションを新規インストールした場合、各権限は初期状態で「許可しない」となっています。必ず「許可」または「アプリの使用中的み許可」に変更してから利用してください。
※1：インストール済みの端末で新バージョンへ更新した場合も、権限設定を必ず確認してください。
※2：本アプリケーション起動中に権限を変更すると正常に動作しない場合があります。変更した場合は再起動してから利用してください。
※3：権限が「許可」になっていない状態で起動すると、設定変更を促すダイアログが表示されます。設定アプリから変更するほか、ダイアログの「OK」をタップして自動表示される設定画面から設定できます。
- 「アプリケーション導入上のご注意」で記載している端末側の「アプリの権限」設定に加え、「他のアプリの上に重ねて表示」の設定も「許可」にしてください（一部機種では名称が異なる場合があります）。この設定が「許可しない」の場合、本アプリケーションを正しく起動および利用できません。

【Bluetoothヘッドセット】

- 本アプリケーションで使用するBluetoothヘッドセットは、以下の基準を満たすものをご利用ください。また、スマートフォンとの接続方法については、Bluetoothヘッドセットの取扱説明書をご参照ください。

適合規格	Bluetooth® 5.0以上
対応プロファイル	HFP
必要な機能	マイクミュート機能

※導入前には、必ず動作および通話、着信通知音の確認を行ってください。

- Bluetoothヘッドセットを使用中は、他のアプリケーションの利用や他のヘッドセット機器への切り替え操作を行わないでください。これらの操作を行うと、正常に動作せず、通話が行えなくなる場合があります。
- スマートフォンとBluetoothヘッドセットの組み合わせや、電池残量、距離、電波干渉の影響などにより、操作音や着信音が鳴動しない、音声途切れる、音量を変更できない、または通話が困難になる場合があります。
- 有線イヤホンマイクとBluetoothヘッドセットは併用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- Bluetoothヘッドセット側の発信・応答操作や独自機能は、本アプリケーションでは使用しないでください。
- Bluetoothヘッドセットの仕様や特性に起因する動作や音声品質については、保証できません。
- 標準電話アプリケーション等で音声通話回線を利用した発信や通話を行った場合、通話終了後に本アプリケーションが主装置との再接続を自動で行います。

【アプリケーション】

- 本アプリケーションをご利用の前に、主装置側の設定で、本アプリケーションを接続する収容位置のプログラマブルキー36に「マイク」を必ず登録してください。登録方法は、主装置に添付の取扱説明書をご参照ください。
※プログラマブルキー36には「マイク」以外の機能を登録しないようご注意ください。
- どこでもでんわ機能は、モバイルデータ通信でのみご利用いただけます。スマートフォンがWi-Fiに接続している場合でも、「モバイル回線固定 ON/OFF」設定を「ON」にすることで、どこでもでんわ機能をご利用いただけます。

1. 概要

アプリケーション導入上のご注意

- スマートフォンに本アプリケーションが既にインストールされている状態で、Google Playストアから更新を行う場合、本アプリケーションを起動中に更新すると、スマートフォンによっては「強制終了」のダイアログが表示されることがあります。この場合は、「OK」ボタンをタップした後、本アプリケーションのアイコンを再度タップすると、更新後のバージョンで起動します。
- 本アプリケーションの発着信中や通話中に他のアプリケーションを使用しないでください。使用した場合、着信音が鳴らない、通話ができないなどの事象が発生することがあります。
- 本アプリケーションが正常に動作しない場合は、アプリケーションを再起動してください。それでも改善しない場合は、スマートフォン本体を再起動したうえで、本アプリケーションを再度起動してください。
- スマートフォンのOS内部で処理が競合した場合、画面が正常に表示されないことがあります。その場合は、タブをタップして画面の切り替えを行ってください。
- 着信音設定の「ユーザメロディ」を利用する場合は、PCとUSB接続し、使用する音楽ファイルをスマートフォン内の「/Android/data/jp.co.nyc.Intercom/files/ringtones/」フォルダへ保存してください。保存後に選択可能になります。
選択可能なユーザメロディは「ファイル名が半角英数字のwaveファイル（拡張子.wav）」のみです。スマートフォン内に選択可能なユーザメロディがない場合は、「grande_valse_brillante_op18」のみ選択できます。
また、有線イヤホンマイク接続中や本アプリケーションの着信中は、「ユーザメロディ」の設定変更を行わないでください。
- 本アプリケーションでインカム通話中に音声通話回線から着信が入った場合は、自動的にルームを退出し、着信のバナーが表示されます。
本アプリケーションで内線通話中に音声通話回線から着信が入った場合は、応答するまでは内線通話を継続します。「応答」を選択すると内線通話が切断され、音声通話回線での通話に切り替わります。
- 同じスマートフォンに本アプリケーションと多機能電話アプリケーション2をインストールして利用できます。
 - ・多機能電話アプリケーション2は、インカムライセンスの他に端末1台ごとにライセンスが必要です。
 - ・本アプリケーションと多機能電話アプリケーション2は、同じ内線番号を使用してください。
 - ・両アプリの同時起動はできません。いずれかのアプリを起動する前に、使用していたアプリで必ずログアウトおよび終了操作を行ってください。
- 有線イヤホンマイクでご利用の際に、音声がスマートフォン本体から出力される場合は、本アプリケーション設定の「入室時ハンズフリー利用ON/OFF」を「OFF」にしてご使用ください。

1. 概要

動作確認済み機種一覧

- 本アプリケーションの動作確認済み機種は、サポートページをご参照ください。

インカムアプリケーション サポートページ

<https://www.hoshunet.jp/fsc/qa/INCOM/incomap.html>

- 動作確認済み機種に関する注意事項は、以下記載の通り。
 - ※1：スマートフォンのOS自動バージョンアップは行わないでください。
 - ※2：本アプリケーションをOSのマルチウィンドウ機能（分割画面）で利用することはできません。
 - ※3：一部機種においては、ミュージックアプリで音楽を再生中に本アプリケーションへ着信があった際、ミュージックアプリの音楽が停止せずに音楽の再生と本アプリケーションの着信音鳴動が同時に行われることがあります。このような場合は、ミュージックアプリの音楽を停止後に本アプリケーションの着信へ応答してください。
 - ※4：OS側の画面表示に関する設定で「ダークテーマ」の設定を有効にしている場合でも、本アプリケーションは無効の場合と同様の画面表示及び動作となります。
ただし、OS側で表示する画面等については、OS側の画面表示及び動作に依存します。
 - ※5：スマートフォンをデュアルSIMで運用すると、主装置との通信が不安定になることがあります。

2. アプリケーションの起動

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動します。

※手順4～6については、アプリケーションの初回起動時のみ操作が必要となります。

1

アプリケーションを起動する前に端末側の Wi-Fi 設定で、システム環境の無線 LAN アクセスポイントへ接続します。

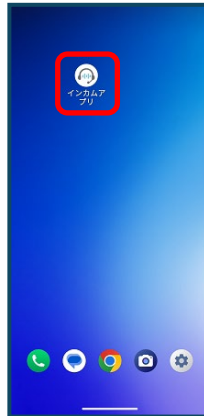


【補足説明】

- Wi-Fi設定後、扇マークの「Wi-Fiアイコン」が表示されていることを必ずご確認ください。
- 社外利用ON（どこでもでんわ機能ON）で利用する場合、本操作は不要です。

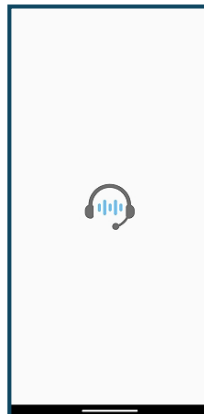
2

アプリケーションアイコン「インカムアプリ」をタップします。



3

アプリケーションの起動画面が表示されます。



4

アプリケーションのネットワーク接続条件設定画面が表示されますので、必要な項目を設定します。

【主な設定項目】

どこでもんわ利用有無	初期値は「利用しない」となっていますので、必要に応じて設定してください。
主装置ホスト名	どこでもんわ利用時および外出先からのログアウト操作を行う場合に設定を行います。初期値は空欄となっていますので、主装置のMACアドレス・容量に従ってホスト名を入力してください。
主装置 IP アドレス	初期値は「192.168.1.100」が入力されていますが、主装置側のデータ設定（主装置のIPアドレス）の値に従うため、必要に応じて変更してください。
主装置 TCP ポート番号	初期値は「50000」が入力されていますが、主装置側のデータ設定（IP端末制御用ポート番号）の値に従うため、必要に応じて変更してください。
内線番号	初期値は空欄となっていますので、主装置側のデータ設定（内線番号）の値に従って接続する収容位置の内線番号を入力してください。
端末 IP アドレス表示	手順1で正常に無線LANアクセスポイントへ接続できている場合、取得したIPアドレスが表示されますので、ご確認ください。 「取得失敗」と表示された場合は、Wi-Fiの接続状況をご確認ください。 どこでもんわを利用する場合は携帯キャリアから割り当てられたIPアドレスが表示されます。

※Xシリーズ主装置のデータ設定アプリケーション（バージョン：4.1.0.1～）で作成した二次元コードを使用してネットワーク接続条件設定などを設定することができます。詳細は、「5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）-二次元コードで設定を行う」のページをご参照ください。

5

必要な項目の設定後、「OK」ボタンをタップします。

6


右記のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをタップすると、アプリケーションが自動で再起動します。

7


アプリケーションが再起動してから数秒後、右記のように「インカム」タブの画面が表示されます。
主装置への接続完了となり、本アプリケーションの利用が可能となります。

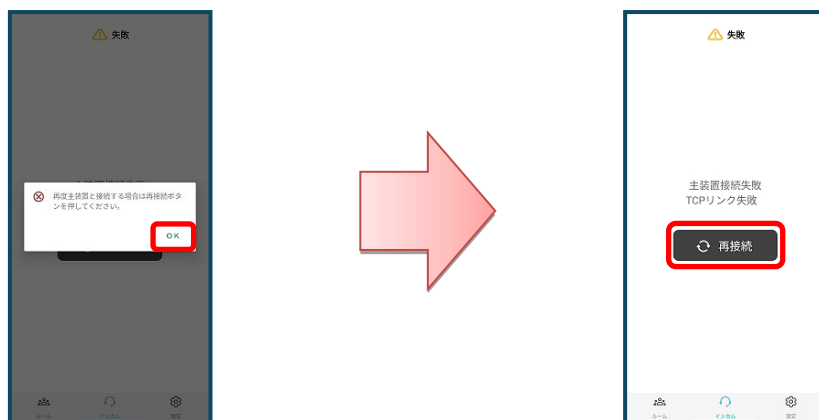


【補足説明】


- 本アプリケーションを初回起動以降に起動した場合、正常に主装置へ接続できる環境であれば、手順3の起動画面表示から数秒後に左記の画面を表示します（ルーム参加している場合は待機中（ルーム未入室）の画面になります）。
- 主装置への接続が完了し、本アプリケーションが利用可能な場合、画面左上（ステータスバー）に「」のアイコンが表示されます。

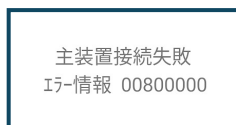
補足説明

- 主装置への接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます（画面左上（ステータスバー）に「」のアイコンが表示されます）。ダイアログの「OK」をタップし、無線LANアクセスポイントの設定及びスマートフォンのWi-Fi設定やネットワーク環境を必ずご確認・見直しのうえ、「再接続」ボタンをタップしてください。正常に主装置へ接続できる環境であれば、数秒後に主装置への接続完了となります。




以下のようなエラー画面（エラー情報 00800000）が表示された場合、インカム機能のライセンスキーが主装置に登録されていない可能性、またはインカムライセンスは登録済みであるものの、主装置の設定が「参加型インカムモード」になっていない可能性があります。

その他のエラー情報が表示された場合も同様に、販売店にご確認いただくとともに、主装置の工事・保守マニュアル「工事マニュアル編—IPSD電話機・IPLD電話機の設置—障害探索手順」に記載の「エラー情報対応表」を参照のうえ、ネットワーク環境や設定内容をご確認ください。

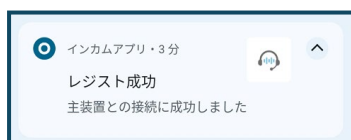


- 本アプリケーションの起動後、主装置への接続状況が通知メッセージとして、通知ドロワーに表示されます。他のアプリケーションをフォアグラウンド状態で起動している場合などにおいて、通知メッセージをタップすることで本アプリケーションを起動することができます。通知メッセージの内容は、以下の通りです（以下の図は一例）。

※マルチタスクボタン（例：）のタップで本アプリケーションを消去すると、通知ドロワーに表示されている通知メッセージが非表示の状態となります。

本アプリケーションを再度起動する場合は、ホーム画面からアプリケーションアイコンをタップしてください。

- 主装置への接続が正常に完了している場合：



- 主装置への接続が失敗している場合：



3. アプリケーションの設定

インカムのルーム参加中は設定変更ができません。設定変更を行う場合は、ルームから退出するか、インカム不参加の状態ですタブバーの「設定」をタップしてください。

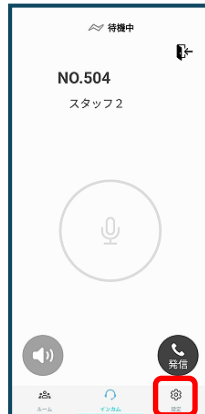
社外利用ON/OFF

社外利用のON/OFF 設定を行います。

ON の場合は、SIM を使ったモバイルデータ通信により、外出先や Wi-Fi の電波が届かないエリアでも本アプリケーションを利用できます。

1

タブバーの「設定」をタップします。



2

社外利用のON/OFFはトグルスイッチをタップすることで切り替えができます。

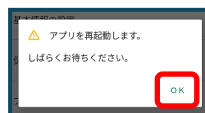


【補足説明】

- 初期値は「OFF」になっています。
- 「OFF」の場合はWi-Fi接続の設定が必要です。
- 「ON」の場合はどこでもでんわの設定が必要です。

3

再起動確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップします。



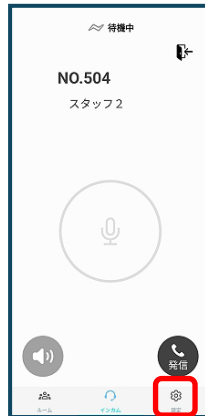
3. アプリケーションの設定

モバイル回線固定ON/OFF

スマートフォンがWi-Fi接続時でも、モバイル回線で通信することができます。本設定は基本的に「ON」のままご利用ください。

※「社外利用ON/OFF」が「ON」に設定されている場合のみ、本設定の変更が可能です。「社外利用ON/OFF」が「OFF」の場合は、本設定に関係なくWi-Fiで通信します。

1 タブバーの「設定」をタップします。



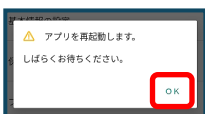
2 モバイル回線固定のON/OFFはトグルスイッチをタップすることで切り替えができます。



【補足説明】

- 初期値は「ON」になっています。

3 再起動確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップします。

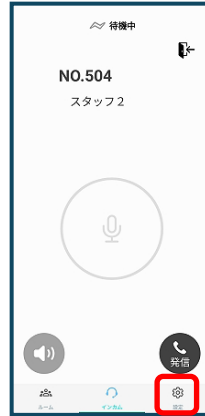


3. アプリケーションの設定

PTTボタン通話固定ON/OFF

「PTT」ボタンをタップすることによって送話のON/OFFを切り替える方式と、押し続けている間だけ送話を有効にする方式を選択できます。

1 タブバーの「設定」をタップします。



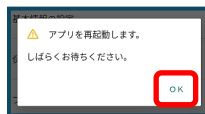
2 PTTボタン通話固定のON/OFFはトグルスイッチをタップすることで切り替えができます。



【補足説明】

- 初期値は「ON」になっています。「ON」の場合、「PTT」ボタンをタップすることによって送話のON/OFFが切り替わります。「OFF」に設定すると、「PTT」ボタンを押し続けている間だけ送話が有効になります。

3 再起動確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップします。



3. アプリケーションの設定

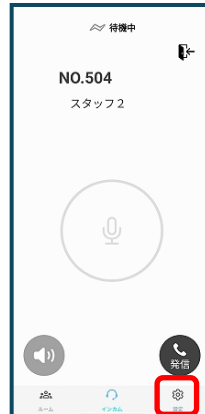
通信切断時の音声通知ON/OFF

ルーム参加中に、本アプリケーションと主装置の通信が切れた際に、「通信が切断されました」というアナウンスで通信切断を知らせることができます。

※ルーム退出中やインカム不参加時に通信が切断された場合は、アナウンスは送出されません。

1

タブバーの「設定」をタップします。



2

通信切断時の音声通知は、トグルスイッチのタップでON/OFFを切り替えることができます。



【補足説明】

- ・初期値は「ON」になっています。

3. アプリケーションの設定

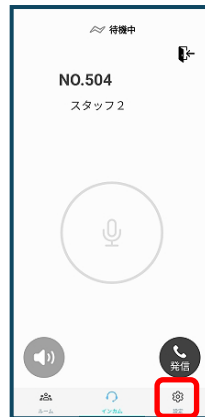
入室時ハンズフリー利用ON/OFF

ルームに参加した際、ハンズフリーON状態で開始するか、OFF状態で開始するかを設定することができます。ルームを退出して再度入室した場合も、ハンズフリーのON/OFFは退出時の状態ではなく、本設定に従います。

※Bluetoothヘッドセットを接続している場合は、本設定にかかわらず、ヘッドセットでの送受話になります。

※有線イヤホンマイクを使用する場合は、本設定をOFFにしてご利用ください。

1 タブバーの「設定」をタップします。



2 入室時ハンズフリー利用は、トグルスイッチのタップでON/OFFを切り替えることができます。



【補足説明】

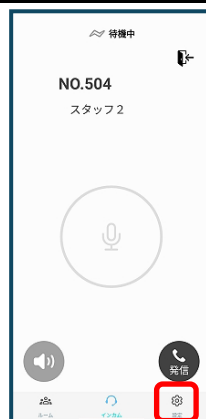
- ・初期値は「ON」になっています。

3. アプリケーションの設定

基本情報の設定

アプリケーションを利用するために必要な基本情報の設定を行います。

1 タブバーの「設定」をタップします。




2 「基本情報の設定」をタップします。



3 必要に応じて各種設定を行います。
※各種設定の詳細は次ページ以降へ記載



設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
表示設定	電話機LCD表示部の時刻表示有無	ダイヤル画面で電話機 LCD 表示部の時刻について、「表示しない/表示する」を選択します。	初期値は「表示しない」が設定されています。「表示する」に設定した場合、ダイヤル画面で電話機 LCD 表示部の日付の横に主装置から取得した時刻が表示されず。
	着信時フォントサイズ拡大	着信時のフォントサイズを拡大表示することができます。 ※着信画面のカスタムボタンのフォントサイズも拡大表示することができます。	初期値は「拡大しない」が設定されています。 ※拡大表示を設定すると一部の表示が省略される場合があります。
	フォントサイズ拡大	LCD、カスタムボタンのフォントサイズを拡大表示することができます。	初期値は「拡大しない」が設定されています。 ※拡大表示を設定すると一部の表示が省略される場合があります。
着信設定	内線着信音	ナースコールの着信音を設定することが可能です。	初期値は「内線着信音A」が設定されています。「内線着信音A～H、ユーザメロディ」の中から選択可能です。
	内線一般着信音	主装置側に設定した内線一般着信の着信音に対応させる端末側の着信音を設定することが可能です。	主装置側着信音 01～07・主装置側着信音メロディの着信音を、「内線着信音 A～H、ユーザメロディ」の中から選択可能です。
ログ機能	ログ取得 ※ログに関する詳細は、販売店にご確認ください。	本アプリケーションの各種ログ（システムログ/メディアログ/例外ログ）を取得することが可能です。 ※取得したログのデータを PC と USB 接続して移動する際、既に PC と USB 接続している状態且つ既に各種ログのファイルが端末へ保存されている状態で取得を行った場合は、PC と再接続してからデータの移動を行ってください。	取得したログは端末内の「/Android/data/jp.co.nyc.Intercom/files/log/」フォルダへ保存されます（各ファイル最大7ファイルまで）。

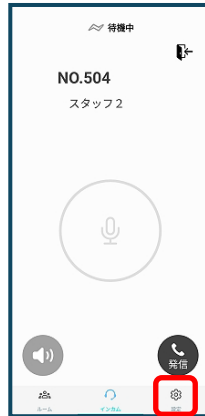
設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
その他	Bluetoothヘッドセット使用有無	本アプリケーションでBluetoothヘッドセットを使用する場合に設定します。	初期値は「使用しない」に設定されています。 本設定を「使用する」とする場合は端末側のBluetoothの設定も必ず有効としてください。 端末側のBluetoothの設定を無効とする場合は本設定も必ず「使用しない」としてください。
	アプリ自動起動	端末のマルチタスクボタン（例：  ）のタップで誤って本アプリケーションを消去した際、直後にアプリケーションを自動起動するかしないかを設定することが可能です。	初期値は「自動起動しない」に設定されています。 本アプリケーションの設定項目「アプリの終了」または端末の設定アプリで「強制停止（強制終了）」ボタンからアプリケーションを終了した場合は、自動起動しません。
	設定画面パスワード表示	設定画面に入る前にパスワード入力画面を表示するかしないかの設定が可能です。	初期値は「表示しない」が設定されています。
	設定画面パスワード設定	設定画面に入る前に入力するパスワードの設定が可能です。	初期値は「0000」が設定されています。
基本情報の設定内容 初期化	初期化しない	誤って本設定をタップした場合や設定内容の初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	-
	初期化する	基本情報の設定内容を全て初期化する場合は、「初期化する」をタップしてください。	初期化後にアプリケーションは自動で再起動します。

3. アプリケーションの設定

保守情報の設定

アプリケーションを利用するために必要な保守情報の設定を行います。
※保守情報の設定については、詳細を販売店にご確認のうえで行ってください。

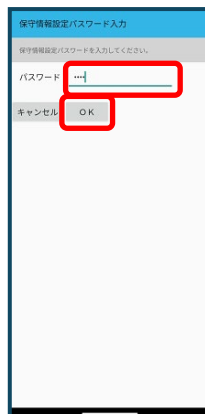
1 タブバーの「設定」をタップします。



2 「保守情報の設定」をタップします。



3 保守情報設定パスワード入力画面となりますので、パスワード(初期値は「0000」)を入力して「OK」ボタンをタップします。
※設定を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをタップします。



必要に応じて各種設定を行います。
※各種設定の詳細は次ページ以降へ記載



【補足説明】

- 「音量設定」では、本アプリケーションで通話時の音量設定を変更することが可能です。弊社で動作確認を行ったスマートフォンについては、「動作確認済み機種一覧」に推奨値を掲載しています。一覧に掲載されていない機種をご利用の場合は、必要に応じて販売店へ詳細をご確認のうえ設定を変更し、必ず事前に通話試験などを実施してから本アプリケーションをご利用ください。

設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
ネットワーク 接続条件設定	データ設定の二次元コード読み取り	Xシリーズ主装置のデータ設定アプリケーションで作成した二次元コードを読み込むことで「ネットワーク接続条件設定」を設定することができます。	二次元コードの作成については「データ設定アプリケーション」の取扱説明書をご覧ください。 【データ設定アプリケーションXiバージョン：4.1.0.1～】
	どこでもでんわ利用有無	「利用する」に設定することでモバイルデータ通信を利用して本アプリケーションを利用することができます。	初期値は「利用しない」が設定されています。 ※本設定は「社外利用ON/OFF」設定と同期します。
	主装置ホスト名	主装置のホスト名を「主装置MACアドレス、主装置容量、hoshunet.jp」の形式で設定してください。	初期値は空欄となっています。どこでもでんわおよび外出先からのログアウトを利用する場合に必要な設定です。
	主装置IPアドレス	主装置側のデータ設定に従って、接続する主装置のIPアドレスを正しく設定してください。	初期値は「192.168.1.100」が設定されています。
	主装置TCPポート番号	主装置側のデータ設定に従って、接続する主装置のTCPポート番号を正しく設定してください。	初期値は「50000」が設定されています。 ※主装置設定と合わせてください。
	内線番号	主装置側のデータ設定に従って、接続する収容位置の内線番号を正しく設定してください。	初期値は空欄となっています。
	音声パケットQoS	音声パケットの優先度が設定可能です。	初期値は「46」が設定されています。必要に応じて「0(低)～63(高)」の範囲で設定を変更してください。
	端末IPアドレス表示	現在接続されている無線LANアクセスポイントのIPアドレスまたは携帯キャリアから割り振られたIPアドレスを取得して自動で表示します。 ※手動での設定は不可です。	「取得失敗」と表示される場合はIPアドレスが正しく取得できていません。無線LANアクセスポイントやモバイルデータ通信の接続状況をご確認ください。
	活性化リトライ	本アプリケーションが主装置と接続されていないとき、本アプリケーションが活性化時に主装置へ接続要求を再送する回数が設定可能です。	初期値は「3」が設定されています。必要に応じて「0～10」の範囲で設定を変更してください。
音量設定	エコーキャンセラ設定	本アプリケーションで通話時のエコーキャンセラを設定することが可能です。	初期値は「ON」です。エコーキャンセラを解除する場合は、本設定を「OFF」としてください。
	送話レベル調整	<ul style="list-style-type: none"> ・通話/ヘッドセット通話の送話レベル →本アプリケーションで通常の通話またはヘッドセットを利用した通話を行う際の送話レベル（音量）を調整することが可能です。 ・Bluetooth通話の送話レベル →本アプリケーションでBluetoothヘッドセットを利用した通話を行う際の送話レベル（音量）を調整することが可能です。 	通話/ヘッドセット通話の送話レベルの初期値は「10」、Bluetooth通話の送話レベルの初期値は「0」が設定されています。必要に応じて送話レベルを調整する場合は、「-40～20（dB）」の範囲で設定を行ってください。

設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
音量設定	受話レベル調整	<ul style="list-style-type: none"> • 通話/ヘッドセット通話の受話レベル →本アプリケーションで通常の通話またはヘッドセットを利用した通話を行う際の受話レベル（音量）を調整することが可能です。 • Bluetooth通話の受話レベル →本アプリケーションでBluetoothヘッドセットを利用した通話を行う際の受話レベル（音量）を調整することが可能です。 	通話/ヘッドセット通話の受話レベル、Bluetooth通話の受話レベルともに初期値は「0」が設定されています。必要に応じて受話レベルを調整する場合は、「-40～20（dB）」の範囲で設定を行ってください。
	ノイズ対処機能動作モード指定	本アプリケーションでノイズ対処機能の動作モードを設定することが可能です。	初期値は「動作」が設定されています。
	マイク Gain 調整	音声ルート スピーカ マイク Gain 値 →本アプリケーションでハンズフリーを利用した通話を行う際の送話音量を調整することが可能です。	初期値は「10」が設定されています。必要に応じてマイク Gain を調整する場合は、「-128、-40～20(dB)」の範囲で設定を行ってください。 ※ミュートにする場合は、-128(dB)を設定してください。
	スピーカ Gain 調整	音声ルート スピーカ スピーカ Gain 値 →本アプリケーションでハンズフリーを利用した通話を行う際の受話音量を調整することが可能です。	初期値は「0」が設定されています。必要に応じてスピーカ Gain を調整する場合は、「-128、-40～20(dB)」の範囲で設定を行ってください。 ※ミュートにする場合は、-128(dB)を設定してください。
	音量設定初期化	音量設定の設定内容を全て初期化する場合は、「初期化する」をタップしてください。 誤って本設定をタップした場合や設定内容の初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	「初期化する」をタップした場合、初期化後にアプリケーションは自動で再起動します。
システム管理	保守情報設定 パスワード	保守情報設定時、設定画面に入る前に入力するパスワードの設定が可能です。	初期値は「0000」が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
	アプリケーションのバージョン	現在インストールされているアプリケーションのバージョンを確認することができます。	-
	データ設定の エクスポート ※パスワードや音量設定はエクスポート対象外となります。	本アプリケーションのデータ設定をエクスポートすることができます。 ※本アプリケーションのアンインストール時、エクスポートしたファイルは削除されますので、ご注意ください。	エクスポートしたデータ設定は端末内の「/Android/data/jp.co.nyc.intercom/files/setting/」フォルダへ「datファイル」として保存されます。 → 例：INCOM260601.dat ※ファイル名はエクスポート時に「INCOM」の文字列の後に日付が入って自動で表示されますが、必要に応じて変更することが可能です。

設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
システム管理	データ設定の インポート	端末内へ保存されている本アプリケーションのデータ設定をインポートすることができます。 ※本アプリケーションをバージョンアップした場合、現バージョンより前のバージョンでエクスポートしたファイルについてもインポートすることが可能です（現バージョンと前のバージョンの両方に存在する設定項目については、そのまま引き継がれます）。	端末内の「/Android/data/jp.co.nyc.intercom/files/setting/」フォルダへ「datファイル」が複数存在する場合は、任意のファイルを選択することが可能です。 ※インポート後、アプリケーションは自動で再起動します。
	プッシュ通知レジスト 情報	プッシュ通知機能を利用するために必要なレジスト情報を取得し、表示することができます。	「ファイル保存」をタップすると、「RegistID.txt」のファイル名で端末内の「/Android/data/jp.co.nyc.intercom/files/RegistID/」フォルダへ保存されます。
保守情報の 設定内容 初期化	初期化しない	誤って本設定をタップした場合や設定内容の初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	-
	初期化する	保守情報の設定内容を全て初期化する場合は、「初期化する」をタップしてください。	初期化後にアプリケーションは自動で再起動します。 ※下記の設定も併せて初期化されます。 ・社外利用ON/OFF ・モバイル回線固定ON/OFF ・PTTボタン通話固定ON/OFF ・通信切断時の音声通知ON/OFF ・入室時ハンズフリー利用ON/OFF
全初期化	初期化しない	誤って本設定をタップした場合や全初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	-
	初期化する	アプリケーションの基本情報や保守情報を全て初期化する場合は「初期化する」をタップしてください。	初期化後にアプリケーションは自動で再起動します。
ログ表示	-	本アプリケーションのログを表示することができます。	-
ログ送信	-	本アプリケーションのログおよびデータ設定をメールで送信することができます。	事前に利用可能なメールアプリケーションをスマートフォンのデフォルトメールアプリケーションとして登録しておきます。

3. アプリケーションの設定

プライバシーポリシー

開発元のプライバシーポリシーが掲載されたWebページを表示します。

1

タブバーの「設定」にある「プライバシーポリシー」をタップします。ブラウザアプリが起動し、プライバシーポリシーが掲載された Web ページが表示されます。



ご注意

- 接続している無線LANアクセスポイントがインターネットに接続されていない環境の場合、またはネットワーク環境やWebページのリンク先が不安定な場合は、画面が切り替わらないことがあります。
- 起動可能なブラウザアプリがない場合はエラーダイアログが表示され、Webページを表示できません。

3. アプリケーションの設定

Q&A

本アプリケーションに関するQ&Aが掲載されたWebページを表示します。

1

タブバーの「設定」にある「Q&A」をタップします。ブラウザアプリが起動し、Q&Aが掲載されたWebページが表示されます。



ご注意

- 接続している無線LANアクセスポイントがインターネットに接続されていない環境の場合、またはネットワーク環境やWebページのリンク先が不安定な場合は、画面が切り替わらないことがあります。
- 起動可能なブラウザアプリがない場合はエラーダイアログが表示され、Webページを表示できません。
- Webページに掲載されているQ&Aはpdf形式のファイルです。Webページからダウンロード後に閲覧できない場合は、pdf形式のファイルを閲覧するアプリケーションを別途インストールしてください。

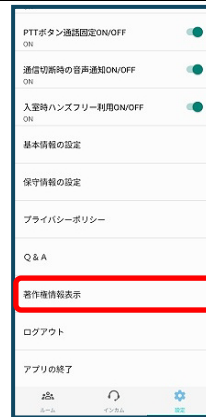
3. アプリケーションの設定

著作権情報表示

本アプリケーションで使用しているライブラリの著作権情報を表示します。

1

タブバーの「設定」にある「著作権情報表示」をタップします。
著作権情報が記載された画面へ表示が切り替わります。



3. アプリケーションの設定

ログアウト

主装置からのログアウト操作を行います。ログアウトすることで、内線一般着信およびナースコール着信、それぞれのプッシュ通知を受けなくすることができます。

※外出先（主装置のローカルネットワーク外）でもログアウトの操作が可能です。

1 タブバーの「設定」にある「ログアウト」をタップします。



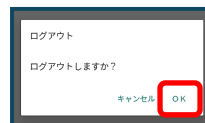
2 「ログアウトする」をタップします。



【補足説明】

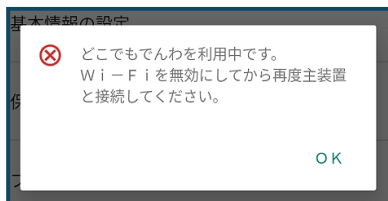
- 以下のような場合にログアウト操作を行ってください。
 - ①外出等でプッシュ通知を受ける必要が無く、外出前に主装置との接続を一時的に解除する場合
 - ②Wi-Fi のネットワーク設定から、本アプリケーションを主装置へ接続するための IP アドレス設定を変更する場合
※設定を変更する前にログアウトすること

3 確認のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをタップします。その後、ログアウトが実行されます。ログアウト後はアプリケーションを終了してください。



補足説明

- どこでもでんわ機能を利用しない構成で外出先からログアウト操作を行う場合も、主装置のDDNSサーバ登録および本アプリケーションの「保守情報の設定 - ネットワーク接続条件設定 - 主装置ホスト名」の設定が必要となります。
- どこでもでんわ機能を利用する設定でログアウト操作時に下記のエラー画面が表示される場合は、スマートフォンのWi-Fi機能をOFFにしてください。



3. アプリケーションの設定

アプリの終了

アプリケーションを終了します。

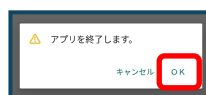
- 1 タブバーの「設定」にある「アプリの終了」をタップします。



- 2 「終了する」をタップします。



- 3 確認のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをタップします。
その後、アプリケーションが終了します。



4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

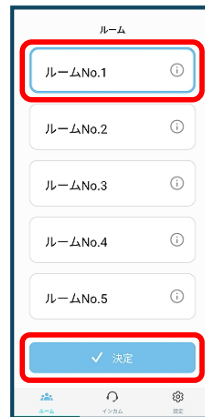
ルームに参加する（インカムで通話する）

同じルームの参加者同士が同時に会話できます。

※内線の発信中・着信中・通話中は、ルームに参加できません。

1

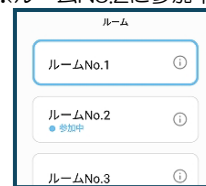
「ルーム」タブで参加したいルームをタップし、「決定」ボタンをタップします。



【補足説明】

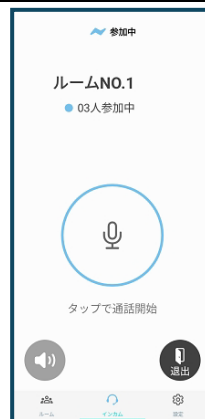
• 既にルームに参加している場合は、ルーム名の下に「参加中」と表示されます。ルームを変更する場合は、参加したいルームを選択して「決定」ボタンをタップします。現在のルームに参加する場合は、そのまま「インカム」タブをタップします。

※ルームNo.2に参加中の表示例



2

「インカム」タブが表示されるので、画面上部に「参加中」と表示されていることを確認します。



【補足説明】

• 画面上部に「待機中」が表示されている場合は、「入室」ボタンをタップします。

※待機中（ルーム未入室）の表示例



3

「PTT」ボタンをタップしてから話すと、ルームに参加している全員へ音声を送られます。会話が終わったら、再度「PTT」ボタンをタップして送話をミュートします。



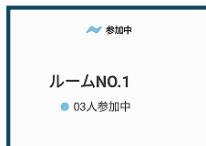
【補足説明】

• 「PTT」ボタンを押している間だけ送話を有効にするよう設定できます。

補足説明

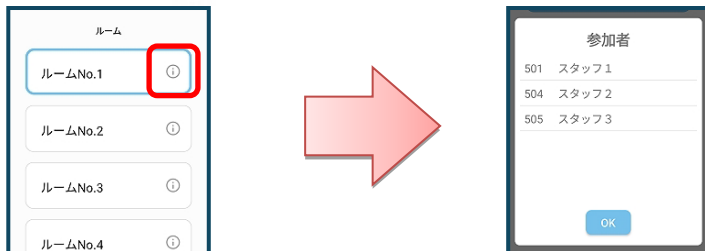
- 各ルームごとの参加人数上限は主装置で設定します。
- 各ルームの参加人数、参加内線を確認することができます。

・ルーム参加中の表示例（ルームNo.1に3人参加中の例）



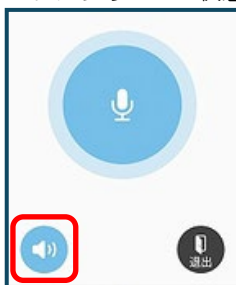
・「ルーム」タブの表示例（ルームNo.1に3人参加中の例）

ルームNo横の「①」をタップすると、ルームに参加している内線番号と内線名称が表示されます。

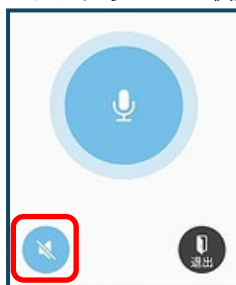


- ルーム参加中に着信を受けると、着信通知音（インバンドトーン）で通知がされます。
 - 音声通話回線から着信を受けると、ルームを退出して着信のバナーが表示されます。
 - インカム通話中に、ハンズフリーのON/OFFを切り替えることができます。切り替えは、「HF」ボタンが有効になっている場合（自身を含む同一ルーム参加者のいずれかの送話が有効時）にのみ操作可能です。
- ON/OFFの切り替えは「HF」ボタンをタップして行います。

・ハンズフリーON状態



・ハンズフリーOFF状態



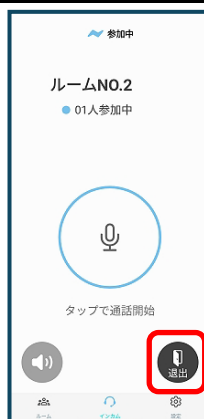
※Bluetoothヘッドセットを接続している場合は、ハンズフリーのON/OFFにかかわらず、ヘッドセットでの送受話となります。

4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

ルームから退出する

ルームの会話には参加しない状態になります。着信応答や内線発信を行う際に、ルームを退出します。

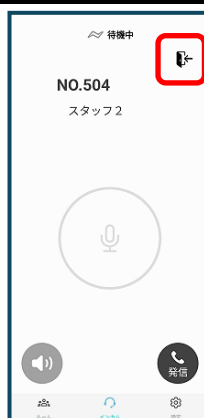
1 インカムのルーム参加中に「退出」ボタンをタップします。



【補足説明】

- 「退出」ボタンはルームに入室中のみ表示されます。

2 ルームを退出すると画面上部に「待機中」が表示されます。もう一度ルームに入る場合は、「入室」ボタンをタップします。



補足説明

- 退出中に着信を受けると、着信通知音による通知ではなく着信鳴動します。
- 退出中は、内線発信および内線一般着信の発信ができます。

4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

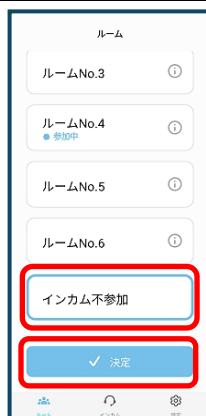
ルームから抜ける（インカム不参加）

インカムのルームから退出して、ルーム未選択の状態にすることができます。「インカム不参加」とすることで、誤操作によるルーム参加を防止できます。

※本アプリケーションを初めて起動した場合は、インカム不参加（ルーム未選択）の状態になっています。

1

「ルーム」タブで「インカム不参加」を選択し、「決定」ボタンをタップします。



【補足説明】

- ・ルーム入室中・退室中に関わらず操作できます。

2

「インカム」タブに遷移し、「ルーム未選択」の表示がされます。



【補足説明】

- ・再度ルームに参加する時はタブバーの「ルーム」をタップして利用するルームを選択します。

補足説明

- インカム不参加中に着信を受けると、着信通知音による通知ではなく着信鳴動します。
- インカム不参加中は、内線発信および内線一般着信の発信ができます。

4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

電話をかける

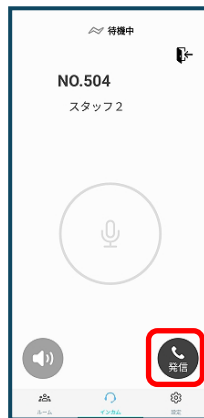
本アプリケーションから内線に発信します。

※本アプリケーションから発信できるのは内線の個別発信と内線一般着信の発信のみです。通話のみ可能で、保留などの機能は利用できません。

※発信中または通話中に「HF切替」ボタンをタップすると、ハンズフリーのON/OFFを切り替えることができます。Bluetoothヘッドセットを接続している場合は、ハンズフリーのON/OFFにかかわらず、ヘッドセットでの送受話となります。

1

「インカム不参加」もしくは「ルーム参加しているが未入室（待機中）」の状態
で、タブバーの「インカム」をタップします。
続けて「インカム」の画面で「発信」ボタンをタップします。

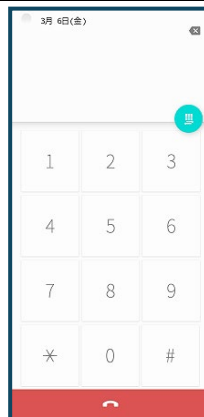


【補足説明】

- ・インカム通話中の場合は、「退出」ボタンをタップします。

2

ダイヤル画面が表示されるので相手内線番号、もしくは内線一般着信の番号をタップします。

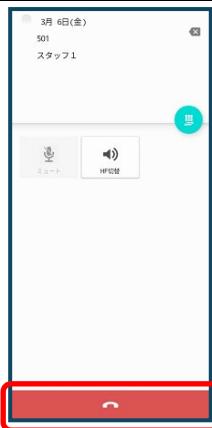


【補足説明】

- ・ダイヤル画面が表示されると内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

3

相手の方が応答したら通話
します。
通話が終わったら「終話」
ボタンをタップします。終
話後は「インカム」タブの
画面が表示されます。



4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

電話を受ける

本アプリケーションで内線一般着信およびナースコールからの着信を受けることができます。インカムルームに入室していない時の着信はプッシュ通知機能を使用します。詳細については、「5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）ープッシュ通知機能を利用する」を参照してください。
※通話中に「HF切替」ボタンをタップすると、ハンズフリーのON/OFFを切り替えることができます。Bluetoothヘッドセットを接続している場合は、ハンズフリーのON/OFFにかかわらず、ヘッドセットでの送受話となります。

・インカムルーム入室中に内線一般着信・ナースコール着信を受ける

1 インカムのルーム入室中に着信を受けると、着信通知音で通知がされます。



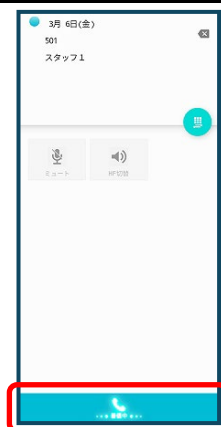
【補足説明】

- ロック中や「ルーム」タブや「設定」タブを表示している状態でも、インカムのルームに参加している場合は着信通知音で着信が通知されます。
- 着信通知音はインバンドトーン（プップ）で通知されます。

2 「退出」ボタンをタップします。

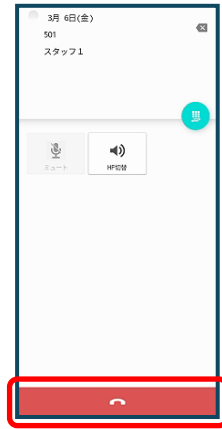


3 退出すると着信画面に切り替わります。この画面で「着信オフフック」ボタンをタップし、相手の方と通話します。



4

通話が終わったら、「終話」ボタンをタップします。終話するとインカムルーム退出中の画面に切り替わります。



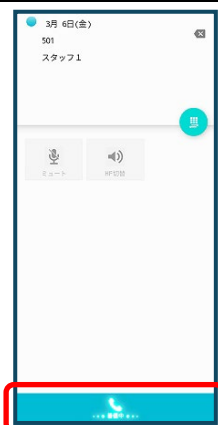
【補足説明】

- 着信応答する前に会話していたルームに戻るときは、終話後の画面で「入室」ボタンをタップします。

・インカムルーム退出中、ルーム不参加中に内線一般着信・ナースコール着信を受ける

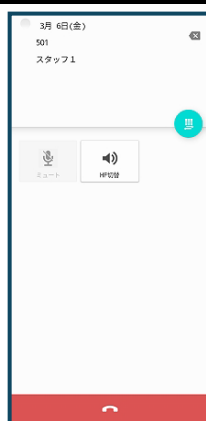
1

着信を受けると着信画面に切り替わります。この画面で「着信オフフック」ボタンをタップします。



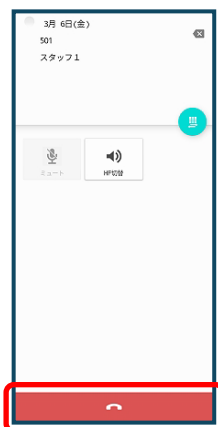
2

応答すると通話画面に切り替わるので、相手の方と通話します。



3

通話が終わったら、「終話」ボタンをタップします。終話すると着信前に表示していた画面に切り替わります。



5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

プッシュ通知機能を利用する

本アプリケーションがインカムのルームに入室していない場合は、インターネット経由のプッシュ通知により、内線一般着信およびナースコール着信時に本アプリケーションを起動できます。バックグラウンド状態（画面消灯時を含む）や未起動であっても、ログイン状態であればプッシュ通知により起動します。

※事前に以下の主装置側のデータ設定を行っておく必要があります。

- 主装置のIPアドレス：「デフォルトゲートウェイ」及び「優先DNSサーバ」の項目にシステム環境に接続しているルータ等のIPアドレスを設定
- プッシュ通知の利用有無：「あり」を設定（初期値は「あり」）
- 電話機毎のDILIN別着信鳴動設定：「本アプリケーションを接続する収容位置に着信音99（無鳴動着信）以外」を設定（内線一般着信用の設定）

本機能は事前に主装置をインターネットへ接続する必要があります（主装置がインターネットへ接続されていない場合は本機能が利用できません）。インターネットの接続方法については、販売店にご確認いただくか主装置の工事・保守マニュアル「工事マニュアル編-LANケーブルの接続」及び「データ設定マニュアル編-インターネットWeb設定 ■主装置のインターネット接続」の記載（Web設定専用コマンドの設定は不要）をご参照ください。

ご注意

- 本機能はインターネット経由で動作しているため、ネットワーク環境の負荷状況やルータ設定などによっては、動作が遅れる、またはプッシュ通知が届かない場合があります。
また、1回の着信で複数回プッシュ通知を受信することがありますが、ご利用中のサービス機能の動作には問題ありませんので、そのままお使いください。
- 外出などで端末が無線LANアクセスポイントの圏外となった場合、プッシュ通知を受信しても主装置へ接続できず、着信に回答することはできません。プッシュ通知を受ける必要がない場合は、外出前に主装置へ接続している状態で、本アプリケーションの設定から「ログアウト」を実行し、主装置との接続を一時的に解除してください（詳細は「3.アプリケーションの設定-ログアウト」を参照）。

5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

外出先で利用する

モバイルデータ通信を利用することで、本アプリケーションを外出先（主装置のローカルネットワーク外）でも使用することができます。

※本機能を利用するには下記の設定が必要となります。

（詳細は、「3. アプリケーションの設定」に関するページの記載をご参照ください）

【保守情報の設定—ネットワーク接続条件設定】

- どこでもでんわ利用有無→「利用する」に設定
- 主装置ホスト名（*）
- 主装置TCPポート番号
- 内線番号

*:「主装置MACアドレス,主装置容量(xiccus/xiccula/xicculb).hoshunet.jp」の形式で入力します。

※事前に以下の主装置側の設定、ルーター設定を行っておく必要があります。詳細については、販売店にご確認ください。

- 主装置にどこでもでんわ対応のVoIP内線ユニット（VOIPUD）を実装する
- 主装置のDDNSサーバ登録を行う
- 主装置設定の「MFTアプリ2登録時のIPアドレス上書き有無」を「あり」に設定する
- 主装置側ネットワークのルーターにどこでもでんわ機能で使用するポートの解放設定、静的NAPT（静的IPマスカレード）設定を行う

ご注意

- ご自宅のWi-Fi接続や公衆Wi-Fi接続ではご利用いただけません。モバイルデータ通信をご利用ください。
- 本アプリケーション側の設定は二次元コードを使った設定で反映させることができます。

5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

二次元コードで設定を行う

Xシリーズ主装置のデータ設定アプリケーション（バージョン：4.1.0.1～）で作成した二次元コードを読み取ることで本アプリケーションの設定をすることができます。

二次元コードで設定できる項目は下記の通り。

【保守情報の設定ーネットワーク接続条件設定】

- どこでもでんわ利用有無
- 主装置ホスト名
- 主装置IPアドレス
- 主装置TCPポート番号
- 内線番号

補足説明

- 二次元コードで設定されない項目は必要に応じて手動で設定してください。
- 二次元コード読み取り後に主装置の設定を変更した場合は、主装置の変更に合わせて本アプリケーションの設定を変更するか、再度二次元コードを作成して本アプリケーションで読み込みを行ってください。